

# 女性に配慮した避難所づくり

(2013年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名		女性、特に妊産婦や高齢者などに配慮した避難所づくりはどうなっていますか
1	名古屋市	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所名簿作成の際など、女性ニーズを的確に把握するため可能な限り受付に女性を配置</li> <li>着替えや授乳などを行うスペースを確保、高齢者などについては、区画された部屋や福祉避難スペースを提供</li> <li>女性用物資については、女性特有のニーズに留意するほか、女性による配布体制を確立するなど、配布方法に配慮</li> </ul>
2	豊橋市	<p>第一指定避難所での避難生活に支障がある場合、高齢者、障害者などニーズのある避難者の施設として、位置づけられた福祉避難所に収容することができます。福祉避難所として、市内9か所にある地域福祉センターを指定し、770人以上が長期収容可能であるとともに、環境面では、入浴施設や洋式トイレ、バリアフリー和室などが整備されています。昨年9法人12施設の民間福祉施設と協定を締結し、収容人員の増加に努めています。</p>
3	岡崎市	<p>小学校区に設置してある防災備蓄倉庫には女性、妊婦用のプライベート TENT や障がい者用トイレが備蓄しており、避難所に設置できるようにしている</p>
4	一宮市	<p>女性や高齢者に配慮するため、避難所内の仕切り用資機材や更衣室などにも利用できる TENT を備蓄するなど、プライバシーの確保に努めています。</p>
5	瀬戸市	<p>平成25年度の防災会議において、地域防災計画を修正し、高齢者及び女性に対して配慮することを追加しております。具体的には、空調や洋式トイレ等の施設整備や女性専用干し場、更衣室、授乳室の設置等女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所の運営に努めるものとなりました。</p>
6	半田市	<p>避難所には、着替えや授乳などを行うための1人用簡易 TENT や障がい者、高齢者に配慮した組立式災害用トイレを備蓄しています。また避難場所に指定している体育館等の改修にあたっては、新たに多目的トイレを設置するなど妊産婦や高齢者の方々への配慮にも努めております。</p> <p>災害時の避難所運営においては、災害弱者への配慮は重要な課題であることから、個室の確保や避難所での生活が困難な方々に対して、速やかに福祉避難所を開設するなど適切に対応してまいります。</p>
7	春日井市	<p>避難所用の備蓄品として、生理用品、粉ミルクや子ども用及び大人用の紙おむつを用意しております。また春日井市地域防災計画では、避難所の運営における女性の参画、男女のニーズの違いに配慮するとともに、女性専用の物干し場、更衣室、授乳室の設置、安全性の確保など、女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所の運営に努めることとなっています。</p>
8	豊川市	<p>本市においては、3段階の福祉避難所を開設する計画であり、第一段階として一般の避難所に福祉スペースを、第二段階として市内6施設を公的福祉避難所に、第三段階として市内の社会福祉施設等13施設と協定を締結しており、福祉避難所として、段階的に設置する計画としています。妊産婦についても災害時要援護者に該当するため、第一段階の福祉スペースとして配慮することになります。</p> <p>また備蓄食糧等についても、高齢者に配慮し、アルファ化米ではおかゆでも備蓄しており、またすべてのアレルギー対応食としております。</p> <p>備蓄品の見直しについては、3連動地震への対応の中で検討してまいります。女性や高齢者に配慮した避難所運営は、東日本大震災からの教訓であり配慮いたします。</p>
9	津島市	<p>避難所の改善として、間仕切りやパーティション等の資機材整備に努めてまいります。</p>
10	碧南市	<p>避難所で高齢者等のプライバシーが確保できるように、計画的に間仕切りや仮設トイレを購入しております。</p>
11	刈谷市	<p>公共の福祉施設4か所と民間の福祉施設4か所を福祉避難所として指定しております。また、備蓄品についても離乳食、粉ミルク、車椅子やリクライニングベッド等高齢者や乳児などに配慮したものを配備しております。</p>

市町村名		女性、特に妊産婦や高齢者などに配慮した避難所づくりはどうなっていますか
12	豊田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊産婦などの災害時要援護者に対しては交流館などを福祉避難場所に指定しています。</li> <li>・また、間仕切り、生活用品(生理用品、おむつ、洗面用具)、ミルク・哺乳瓶など女性に配慮した備蓄や避難場所運営班等へ女性職員を選任している</li> </ul>
13	安城市	災害時の備蓄物資につきましては、授乳や着替え時に使用する組立式のプライベートルームや生理用品、哺乳瓶、オムツ等を購入しています。高齢者や障害者など災害時要援護者には、簡易ベッドや車椅子対応トイレ等を購入しています。食料品などは、災害時購入できるよう業者と協定を締結しています。避難所においては、市職員、自主防災組織、避難者などで構成される避難所運営委員会を設置することにより、女性や高齢者の意見が反映できる体制づくりを行っています。
14	西尾市	避難所にはパーテーションなど、プライバシーの保護に配慮した資機材の配備も進めております。また、小学校区単位の防災訓練等で、実際の体育館を使用し、災害時要援護者に配慮した避難所の区分けを行うなど避難所運営訓練を行い、避難所における様々なニーズや問題点を予め把握して対処できるような体制づくりに努めております。
15	蒲郡市	大規模災害時の避難所となる小中学校の体育館は、概ねバリアフリーとなっています。災害時要援護者用にプライバシーを保護するためのパーテーションを備蓄しています。福祉避難所として民間の障がい者・高齢者施設と協定を結んでいます。
16	犬山市	施設面での対応は行っていませんが、各避難所の配置職員に、女性1名を配置することで、女性からの相談や要望を受けやすいように配慮し、備蓄物質ではミルクや哺乳瓶、高齢者用のオムツの備蓄充実をすすめています。
17	常滑市	避難所の運営につきましては、常滑市地域防災計画に「女性の参画を推進するとともに、男女のニーズの違い等男女双方の視点等に配慮するものとする。特に女性専用の物干し場、更衣室、授乳室の設置や生理用品、女性用下着の女性による配布、避難所における安全性の確保など、女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所の運営に努めるものとする。」と定めてあります。 女性、特に妊産婦や高齢者に配慮した避難所づくりに努めてまいります。
18	江南市	現在、全ての避難所に、簡易間仕切り及び車椅子の方々にも対応した非常用トイレを整備しており、今後もそうした資機材を順次追加整備してまいります。さらに、施設の改修にあわせ、オストメイト対応型のトイレなど、あわせて整備してまいります。
19	小牧市	女性が避難所で生活をする際には、プライバシーの確保や着替え、授乳部屋など区画されたスペースを用意するなどの配慮が必要だと考えています。小牧市では災害に備え、体育館での避難生活におけるプライバシーを確保するため容易に組み立てができる間仕切りを240張、プライベートルームを20張備蓄しています。また、妊産婦や高齢者など特に配慮が必要な方が避難をする場所として市内3か所の福祉施設等を福祉避難所に指定しています。
20	稲沢市	稲沢市では、市内の小中学校を始め、勤労福祉会館、総合体育館など、避難所を40か所の指定をしています。昨年度から、保育士等による避難所解説訓練を実施しまして、問題点や改善点の洗い出しをしているところでございます。それを受け、乳幼児用オムツや粉ミルク、哺乳瓶やプライバシーを確保するための間仕切り腰掛けにもなるような段ボール製簡易ベッド、衛生面を考慮して水のいらぬシャンプーや体を拭くためのウェットタオル等の備蓄をしています。愛知文教女子短期大学と災害協定を締結しており、乳幼児対応をしていただけるような体制づくりをしています。また避難所生活が長期化した場合には、一般避難者と高齢者など災害時要援護者を分けられるよう老人福祉センター等9館を二次的避難所(福祉雑所)として開設するようにしております。いろいろなご意見を参考にさせていただき、必要なことから改善してまいります。避難所では、自助共助も大切と考えます。発災直後の避難所開設の際には、避難される方においても、飲料水、食料、毛布などの日用品のお持込等ご協力をお願いしています。
21	新城市	避難所開設に当たっては、プライベート空間の確保、体の不自由な方や高齢者に配慮した備蓄品の確保など、今後も女性や高齢者に配慮した備蓄品の確保など、今後も女性や高齢者などへ配慮した対策を進めていきたい。

市町村名	女性、特に妊産婦や高齢者などに配慮した避難所づくりはどうなっていますか
22 東海市	女性や高齢者に配慮した避難所を設置するよう検討中です。
23 大府市	本市では、プライバシー保護の観点から、ダンボール製の間仕切りを各避難所に配備しております。また、高齢者など救護の必要な避難者に対しては、一般の避難者以上の負担を受けるので、必要があれば適切な場所(武道場など)や、施設へ転所できるよう努めていきたいと考えています。なお、本市の備蓄品につきましては、「生命を維持するために必要なもの」を原則に備蓄しておりますので、常備薬や予備のメガネなど、必要不可欠なものは個人や家庭により異なると思いますので、各ご家庭で備蓄していただきたいと存じます。
24 知多市	状況に応じ可能な範囲において、プライバシー等に配慮した避難所づくりや、より適切な施設への転所ができるように努めることとしています。
25 知立市	避難所においては間仕切りを使用し授乳室や更衣室などを設置し、プライバシーに配慮するとともに、乳児の泣き声や高齢者などへの対応として、別の部屋を用意するなど、個別に対応を検討していきたい
26 尾張旭市	本市では、避難所における必要な備蓄など過去の災害の教訓や社会状況の変化から、女性に限らず、乳幼児や高齢者の方が必要とされる物資(肌着セット、生理用品、紙おむつ、粉ミルク、哺乳ビン、雑炊など)の備蓄を行っております。また、授乳、着替えなどプライバシーが確保できる間仕切りを備蓄し、設置の訓練も行っています。さらには、市内大手スーパー等と食糧、生活必需品等を優先的に供給していただくよう協定も結んでおり、可能な限り、多種多様な物資の提供をしていただくようになっております。
27 高浜市	避難所における妊産婦や高齢者などのプライバシーの確保に向けて、間仕切りパーテーションの整備を進めています。また、体育館以外の教室を配慮が必要な方が使用するなどの配慮に努めるよう検討をしています。
28 岩倉市	市で指定している避難所の中に、福祉避難所とする施設はありませんが、災害時に福祉避難所として機能するように資材や介助員などの必要な措置を講じていきます。また、福祉避難所として一定の条件を満たす民間社会福祉施設などとの協議を行って、福祉避難所の指定を行っていきます。
29 豊明市	市内の避難所としては小中学校施設の体育館が指定されています。県立高校施設を転用利用して確保、指定されています。避難所運営が長期化した場合、女性や個人のプライバシーを守る設備が必要であることから、簡易間仕切りやトイレ設備を順次備蓄を行っているところです。
30 日進市	プライバシーを守ることができるよう高さの高い間仕切り、屋根付き間仕切りの配備、体育館に敷きマットの配備を行っています。また、生理用品や紙おむつなど必要な備蓄品も配備しています。
31 田原市	間仕切りなどによるプライバシー保護や女性・高齢者用トイレなどの充実を図っていきます。
32 愛西市	特別な配慮を必要とする高齢者や障がい者のための避難施設として、平成24年度に市内31か所を「福祉避難所」として指定した。 また、妊産婦については、一般避難所の中で健常者とは区別して、スペースを確保し対応する。
33 清須市	防災会議において女性委員より意見があり、トイレの男女隔離や授乳室設置、オムツ交換スペースの確保等々を各避難所に設けることとしています。 今後もこうした女性の意見を尊重しながら防災対策を進めてまいります。
34 北名古屋市	災害状況に応じて福祉避難所を開設し、間仕切り段ボールなどを用いて個々の避難生活スペースの確保に努めます。
35 弥富市	現在、避難所の整備を行っています。避難所が整備された時点で、妊産婦・高齢者に配慮した避難所の検討を行います。
36 みよし市	避難所となる小中学校体育館に女性や要援護に配慮したスペースを確保するため、間仕切りを配備した。
37 あま市	施設の改修に併せて、改善できるところから改善していきたい。

市町村名		女性、特に妊産婦や高齢者などに配慮した避難所づくりはどうなっていますか
38	長久手市	更衣や授乳でも使用可能な高さの間仕切りを備蓄しているほか、市の防災倉庫においては生理用品や粉ミルク、子ども用・大人用紙おむつなどを備蓄しています。
39	東郷町	避難所づくりにあたっては、妊産婦や高齢者などに配慮したいと考えています。
40	豊山町	災害時に避難所となるプライバシー配慮のため、間仕切りを順次備蓄しているが、ダンボールの間仕切りを製造している会社と協定を締結し、優先して調達できるようにしています。なお、福祉避難所として総合福祉センターしいの木を指定しています。
41	大口町	福祉避難所として、4施設と協定を結んでいます。妊産婦や高齢者に特化した避難所については考えていない。
42	扶桑町	扶桑町の避難所は学習等共用施設、小学校及び中学校の体育館や保育園などを避難所として指定している。避難所として使用する場合には間仕切りを行うなどして女性や高齢者にも配慮した避難所運営に心がける。
43	大治町	総合福祉センターを災害時要援護者向け避難所として運用。
44	蟹江町	昨年度、新蟹江小学校に高齢者等に対応した車椅子対応型災害用仮設トイレ3式、災害用間仕切り(プライベートルーム)3式、避難所用間仕切り(女性の着替えなどにも使用できる)2式、簡易的なベッド5式、車椅子3台、スロープ3式を導入し、災害時要援護者に対応した避難所になりました。今年度も舟入小学校に導入いたします。今後も各避難所に災害時要援護者用の資機材を導入し、災害時要援護者に配慮した避難所づくりを邁進したいと思います。
45	飛島村	避難所建設計画中であり、要援護者に配慮した部屋の設置を検討している。
46	阿久比町	地震発生後による避難所での暮らしについては、妊産婦や高齢者は、非常に不安であると思います。本町としましては、個人のプライバシーを守るため、段ボールによる間仕切りをし、夜間照明としまして、今年度照明付発電機の購入をいたします。また、個人の相談に対応できるように、保健師を配置し健康チェックをし、少しでも不安を取り除くことを心がけています。
47	東浦町	妊産婦や高齢者等の災害要援護者が避難所に避難された場合は、民生委員、自主防災組織、ボランティア等の協力を得て、速やかに適切な措置を講ずるようにし、必要に応じて、福祉難所、福祉施設などへの入所及び保健師、ホームヘルパー等による支援を行うようにしている。
48	南知多町	検討中
49	美浜町	避難所に指定しているのは主として小中学校であり、施設的には特別の対策はしてありません。
50	武豊町	避難所用資材としてプライベートルーム(授乳・着替え用などで使用)・障がい者対応の仮設トイレを備蓄しています。少量ですが、大人用のオムツ等の備蓄をしています。今後も、災害弱者へ配慮した避難所の整備を検討していきます。 またほとんどの避難所で入り口のバリアフリー化は行っています。施設で段差がある場所については、備蓄している車いす用の段差スロープを利用したいと考えています。 避難所へは、女性職員の配置も行っています。
51	幸田町	小学校の備蓄倉庫には、更衣室や授乳室として利用できるファミリールーム(間仕切り)を配備しています。なお、時間が経過してから避難してくる高齢者のために、予めスペースを確保できるように努めます。
52	設楽町	今後、整備に努める
53	東栄町	※未回答
54	豊根村	豊根村保健センターが指定されています。